

## 第29回ユニバーシアード競技大会（2017/台北）

### 日本代表選手選考について

日本学生陸上競技連合（以下、日本学連）としての選考基本方針

- ① 強化委員会が設定した標準記録を突破している者を選考対象とする。
- ② 長距離種目、混成競技以外は2017日本学生陸上競技個人選手権大会の成績を基に選考する。
- ③ 長距離種目は（男女5000m、男女10000m、男女ハーフマラソン、男女20km競歩）は指定選考競技会以外の競技結果以外は選考資料としないが一部例外を認める。また、道路競技においての標準記録は原則として扱う。  
※例外とは、2017年世界陸上標準記録突破者のことを指す。
- ④ ハーフマラソン代表は日本学生ハーフマラソンの上位3名を基本的に候補に内定し、4位は補欠とする。この補欠はハーフ上位3名に対してとし、4人目以降の候補はこの補欠を含めて春季の選考競技会の結果から選考する。ハーフマラソンは団体の部（上位3名の成績により順位づけ）でのメダル獲得も目指す。

=資料=

### 選考競技会および選考条件について

#### I. 選考競技会

##### 1. ハーフマラソン

- ・第20回日本学生ハーフマラソン選手権大会（2017年3月5日）
- ・第20回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会（2017年3月19日）

##### 2. 競歩

- ・第11回日本学生20km競歩選手権大会（2017年3月19日）

##### 3. 長距離種目

- ・男女10000m 第65兵庫リレーカーニバル（2017年4月23日）  
※競技会主催側（陸協）からの出場者数制限があった場合は標準記録を突破していても出場できない場合がある。
- ・男女5000m 第51回織田幹雄記念国際陸上競技大会（2017年4月29日）

##### 4. 混成競技

- 1) 第101回日本陸上競技選手権混成競技（2017年6月10日～11日）  
※上記大会を派遣選手選考の最重要大会（最終選考大会）とする。
- 2) 選考参考大会
  - ・2017日本グランプリシリーズ東京大会（仮称）混成競技（2017年4月22日～23日）
  - ・2017年各地区学生陸上競技対校選手権大会（各地区インカレ）  
※各地区インカレでの代表選考は原則として日本グランプリシリーズに出場した者を対象とし、特に優れた成績を収めた者にとどめるものとする。

##### 5. 一般種目（上記以外の種目）

- 1) 2017日本学生陸上競技個人選手権大会（2017年6月9日～11日）  
※上記大会を派遣選手選考の最重要大会（最終選考大会）とする。
- 2) 選考参考大会
  - ・天皇賜盃第85回日本学生陸上競技対校選手権大会（2016年9月2日～4日）
  - ・2017日本グランプリシリーズ各大会（実施種目については日本陸連HP参照）

第67回兵庫リレーカーニバル（2017年4月23日）

第51回織田幹雄記念国際陸上競技大会（2017年4月29日）

第33回静岡国際陸上競技大会（2017年5月3日）

・2017IAAFゴールデングラプリ（2017年5月21日）

・2017年各地区学生陸上競技対校選手権大会（各地区インカレ）

※各地区インカレでの代表選考は原則として日本グランプリシリーズに出場した者を対象とし、特に優れた成績を収めた者にとどめるものとする。

## II. 選考条件

1. 2017年度日本学連登録競技者を選考対象とする。  
（日本学連・普通会员の資格に関する規程参照）  
但し、日本国籍を有し海外の大学に留学をしている場合はこの限りではない。  
なお、ハーフマラソン、競歩に関しては主要選考競技会が前年度に開催されるが、2016年度卒業生および修了生は選考対象外となる。
2. 強化委員会が過去のユニバーシアード競技結果をもとに設定した標準記録（VI. 2017ユニバーシアード派遣標準記録を参照）を突破していることが前提条件である。
3. 派遣枠数については、派遣団体である日本オリンピック委員会（JOC）により決定される。日本学連は、標準記録を突破している競技者の中からJOCの示す派遣枠内の代表選手を推薦する。ハーフマラソンおよび競歩に関しては最大5名のエントリーが認められているが、他の一般種目は1種目2名以内と定められている。
4. 代表選手は、日本学連の理事会の承認を経て、JOC理事会にて正式決定する。
5. 原則として、2017日本学生陸上競技個人選手権大会に出場し、特に優れた成績を収めた者を選考の対象とするが、国際試合等（国際陸上競技連盟IAAF関連の大会、日本代表選手）に出場するため選考競技会に出場できない場合、競技実績や記録等から代表選手として選考することがある。

## III. 標準記録有効期限

1. ハーフマラソンの標準記録有効期限を以下の通りとする。  
男子：2016年1月1日～2017年3月5日  
女子：2016年1月1日～2017年3月19日
2. 競歩の標準記録有効期限を以下の通りとする。  
男子・女子：2016年1月1日～2017年3月19日
3. 一般種目（上記以外）は、日本オリンピック委員会（JOC）へのエントリー締め切り日の関係から標準記録有効期限を以下の通りとする。  
男子・女子：2016年4月1日～2017年6月11日

## IV. 選考基準

1. ハーフマラソン
  - 1) 標準記録を突破し、第20回日本学生ハーフマラソン選手権大会および第20回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会において上位に入賞した者の中から本大会で活躍が期待できる競技者を代表選手とする。
  - 2) 5000m、10000mの選考競技会の結果、およびハーフマラソン選考競技会の結果から代表選手を追加することがある。その場合、女子はハーフマラソン選考競技会出場者のみを選考対象とする。

2. 競歩

標準記録を突破し、第11回日本学生20km競歩選手権大会において上位入賞した者の中から本大会で活躍が期待できる競技者を代表選手とする。

3. リレー種目

リレーチームの派遣は、リレーに関連する個人種目の競技成績を基にし、チーム編成・種目の兼ね合い等を考慮して選考を行う。なお、概ね関連する種目の標準記録を目安とする競技成績をもってリレーメンバーを選考する。

4. 上記（ハーフマラソン、競歩、リレー）以外の種目

派遣標準記録を突破した優勝者・準優勝者で、本大会での入賞が期待できる競技者を選考する。ただし、派遣標準記録を突破し優勝しても選考されない場合がある。

V. その他

候補選手として内定された後に本大会までに故障などのために競技力を十分に発揮できないと強化委員会が判断した場合には内定を取り消す。

VI. 第29回ユニバーシアード競技大会（2017/台北）派遣標準記録

男子	種目	女子
10.40	100m	11.70
20.85	200m	23.90
46.50	400m	53.50
1:48.00	800m	2:03.00
3:43.0	1500m	4:15.0
13:43.0	5000m	16:00.0
28:50.0	10000m	34:00.0
1:04:00	ハーフマラソン	1:13:00
—	100mH	13.30
13.85	110mH	—
50.00	400mH	57.20
8:40.0	3000mSC	9:50.0
1:24:00	20kmW	1:36:00
—	4×100mR	—
—	4×400mR	—
2m21	走高跳	1m84
5m40	棒高跳	4m20
7m80	走幅跳	6m30
16m50	三段跳	13m60
17m70	砲丸投	15m50
57m00	円盤投	54m00
68m00	ハンマー投	63m50
75m50	やり投	55m00
—	七種競技	5700点
7600点	十種競技	—

※第28回ユニバーシアード競技大会（2015/光州）から変更のあった点については、アンダーラインで示している。

※男女ハーフマラソン・男女20kmWについては、第20回日本学生ハーフマラソン選手権大会（2017年3月5日／東京・立川市）、第20回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会（2017年3月19日／島根・松江市）、第11回日本学生20km競歩選手権大会（2017年3月19日／石川・能美市）の成績により、標準記録を突破していない選手を選考することがある。